

火の川



第328号

【編集発行】熊日宮原販売センター

八代郡氷川町柵16-3
TEL 0965-62-3868 Fax62-2867
E-mail kuma-miya@rainbow.plala.or.jp

在来作物から、地域の知恵や文化を探る♪

～京都大准教授ら九州を調査、子どもたちと交流も～



写真上：九州山地の各地で採集した小豆在来系統と大納言を子どもたちへ紹介

写真左：岡崎実さん(東陽町箱石集落)を訪問し、栽培方法や現在の取り組み状況を調査

11月4日、京都大学大学院の近藤友大准教授と大学生2人が、タケノコイモの調査で来町し、氷川町立神の宮崎道子さんと東陽町箱石の岡崎実さんを紹介した。近藤准教授は宮崎大学時代の2016年、氷川町での講演に加え、まちの課題解決・探究コース1期生らが同大学を訪問した折、熱帯果樹のパッションフルーツの苗を分けていただいた経緯がある。(岩本剛)

▼熱帯果樹がご専門だったのでは？

京都大学熱帯農業生態学研究室では、九州の在来作物を調査しています。

在来作物とは、ある程度以上の期間(70年程度以上)にわたって、その地域で自家採種しながら栽培され、地域の食文化を支えてきた作物です。

▼具体的な調査の目的は？

在来作物の栽培・利用方法は、気候風土や嗜好性に適応した特有のものが多く、先人の知恵が数多く存在します。しかしながら、在来作物は近代的な

作物の普及により急速に失われつつあります。そして特有の栽培・利用方法などの知恵や地域の食文化も、同時に失われつつある訳です。

そこでまず、九州山地の在来作物の基礎的な情報収集に着手しています。

▼現時点での調査エリアなどは？

タケノコイモ(サトイモの一系統)と在来の**菜っ葉**を、氷川町・八代市・五木村、宮崎県小林市・椎葉村などで調査しました。

今回は調査に協力いただき、ありがとうございました。地域に特有の作物を栽培されている方、詳しい方がおら

い生産者の1人です。

現在、岡崎さんは種イモを希望者に譲渡し、東陽町のブランド農産物として生産拡大を推進されています。

【京都大学農学部4年：渡辺泰楽】

◆菜っ葉

九州山地、特に五木村を中心にハルゴナ、クロゴナ、ヤマカブと呼ばれる菜っ葉を1カ月間調査しました。五木村内でも複数の形状の菜っ葉が存在し、近接する集落でも異なる呼称が存在していました。(写真参照) 栽培されているものに加え、畔や路傍に勝手に生えているものも食利用されています。

【京都大学農学部4年：辻本朋顯】

チャリティコンサート
第7回
オータム・フェス
Autumn Fest in 氷川
とき 11月26日(日)
10時30分 開場 10時50分 開演
とこ 氷川町電北体育センター
☎ 0965-52-6121

- 10:50～ 開会式
 - 11:00～ 高数木下音楽デュオ
 - 11:30～ SKB 中学生バンド
 - 11:45～ M-RIBA
 - 12:05～ 奏(小4生のエレキギター)
 - 12:20～ 実行委員会より
 - 12:30～ DS-IOC
 - 13:00～ アルパコ
 - 13:30～ ムーンダスト
 - 14:00～ iseri ルーブギター
 - 14:30～ ファイブドリーム
 - 15:00～ シースカイクルー
 - 15:30～ 閉会式
- ・主催：音楽フェス実行委員会
TEL 62-3862
- ・共催：氷川町社会福祉協議会
- ・寄付先：日本赤十字社熊本県支部



近藤准教授による子どもたちへのミニ講演
ましたら連絡いただくと幸いです。
・近藤友大：Eメールアドレス
kondo.tomohiro.0z@kyoto-u.ac.jp

▼こちらこそ、ご講演に感謝です！

(株)氷川のぎろっちょの中高生は、しっかりしていますね。地域の未来を担う若者に、在来作物の価値と意義を伝えることは極めて重要です。また、大学生や院生に話すのとは全然違う刺激があり、懇親会も楽しかったです。今後、オンラインでも京都でも対応しますので、遠慮なくお声かけ下さい。

私はまだ中学生で知識もあまりないのですが、近藤先生は少しでもわかりやすいように説明していただき、とても感謝しています。この講演で、農業でのいろいろな課題を知り、自分たちの活動にも使えるものがあるのではないかと考えていました。また、交流会では近藤先生、辻本さんや渡辺さんからも優しくしてもらい、とてもいい経験になったと思っています。
【八代二中2年：三好爽心】



左から渡辺さん、三好逞心くん、近藤准教授

◆町区 餅つき大会

地元のもち米、
地元のしょうゆを使い、
地元の人々が餅つきの
伝承、そして師走の
町を盛り上げます♪



- ・期 日：12月3日(日)
- ・場 所：氷川町 町区公民館
*雨天決行、入場料無料
- ・内 容

- 10:30～12:00餅つき開始
*小学生から大人まで交代で
- 11:00 つきたて餅の配布開始
*おにぎり&豚汁もあるよ！
- 12:00イベント開始
・シャトルすくい大会
・歌、踊り、各種芸能
・地元音楽家のミニライブ
- 17:30イルミネーション点灯式
*サンタが来る！プレゼントは？
- 18:00 ファイヤードダンスショー
- ・問合せ先：TEL 62-3862



◆通潤橋を造った種山石工展

種山石工が造った通潤橋が国宝に指定されたことを祝し、その業績の数々を展示。

- ・期 日：12月28日(木)まで
※月曜日は館日
- ・観覧料：大人310円
高大生200円
小中生100円
- ・会 場：東陽石匠館



◆東陽生姜品評会

第49回東陽しょうが祭に伴い、10月21日に生姜品評会が行われ、成績は以下のとおり。(敬称略)

【青果の部】

- ・金賞：岩丸敏治
- ・銀賞：大羽巧真、中村智幸
- ・銅賞：岩城 忍、成田光彦、前田新一、村崎洋介、山本 豊



【重量賞】

- 1位：中村弘子 25.4 kg(歴代最重量)
- 2位：岩丸敏治 23.9 kg
- 3位：大羽くるみ 22.6 kg
- 4位：岩城 忍 20.5 kg
- 5位：村崎洋介 19.3 kg



◆熊日杯第20回宮原支部GG大会

10月30日、桜ヶ丘運動公園で開催され、成績は以下のとおり。

【上位入賞者】(敬称略)

- 1位：佐々木麗子、2位：村上芳寿、3位：鶴田稔之、4位：山口あきみ、5位：本田京子、6位：石田文雄、7位：林田好起、8位：村上常義



左から鶴田さん、佐々木さん、村上さん

◆タケノコイモ

タケノコイモは、明治期に台湾から導入されたサトイモの一系統です。宮崎県小林市では大規模に栽培され、小規模には九州山地のかなり広い地域で栽培されています。タケノコイモ、タイホイモ、セカイモ、キョウイモなど複数の呼称が存在し、栽培方法やイモの大きさは地域によって異なっています。岡崎実さんは、東陽町箱石集落のタケノコイモ生産者です。この地域では岡崎さんが子どもの頃から、つまり70年以上種イモを継ぎながら生産され続けて来ました。栽培管理の煩雑さやショウガ生産の拡大などの要因で、箱石集落でもタケノコイモはほとんど消失しており、岡崎さんは数少な



菜っ葉の種類：左からフゴナ、クロゴナ、ジゴナ

相続登記、法人登記、訴訟業務、成年後見業務
など、お気軽にご相談ください。

司法書士法人 川口事務所

司法書士 川口邦則
(熊本県司法書士会会員)
住 所 氷川町今143-1
電 話 62-1770
メール info@kawaguchi-office.org



事務所移転しました！



冬期講習受付開始！

—— 個別指導：小5～中3生対象 ——
中3生は入試対策、中2生～小5生はこれまでの復習
★一人ひとりの成長と、好奇心で伸びる力を
★小学国語、中学英語の活用授業を行います

谷口数学塾

Tel:62-8321(090-3669-5072)
鏡町下有佐792-6 有佐駅より徒歩約10分





写真左上:そめん流し、左中:夕食作り、左下:山登り、右上:川遊び、右下:3日間の振り返り



ファーストペンギンになる(52) 自主性&協調性で、団体生活を送ろう♪ 山・川・海でガキ大将キャンプ~2/2



8月20日から2泊3日の日程で、1~5期生が初めて企画運営したガキ大将キャンプ。今回は、東陽町河俣での2日間のプログラムを振り返る。

◆そめん流し&川遊び♪

21日は8時から坂より上地区へ移動し、地元の講師の指導で竹を運び、割ってもらった後は節取り作業。3本がつながった約20mのそめん流しは壮観で、子どもたちは大満足。

午後からは、同地区公民館の横を流れる河俣川で水遊び。中学生が小学生の面倒を見つつ、男子は飛び込んでいた。

夜は、炎のパフォーマンス、花火、肝試しを楽しみに、さすがに23時ころには就寝していた。

◆山登り&3日間の振り返り

9時から同地区の守り神でもある登尾を目指し、3班に分かれて山登り。昨年の豪雨で道路が崩れ、コケや水で滑りやすいため、全員に竹が渡された。

昼食後、高次生がリードして3日間の振り返りを行った。

★参加前後で変わったこと

・帰ってから、料理のお手伝いしようと思った

・家の手伝いをほとんどしていなかったのが、今度からはがんばろうと思う

・ほかの人を見て、何をしたらいいかを考えられた

・緊張せずに、人としゃべれることがわかった

・だれとでもふれあうことができ、いろいろなことを常に考えるようになった

★どんなガキ大将になれた?

・やさしいガキ大将

・手伝いができるガキ大将

・寝袋を早く片付けするなど、作業が早いガキ大将

【1~5期生のふりかえり】

★良かったこと

・食事作りや片付けなど、みんなで協力して行えた

・小さい子どもたちの面倒をみることができた

★悪かったこと

・海でのプログラムの説明が不十分だった

・ときどき面倒を見ることを忘れて遊んでしまった

・係の仕事や担当として積極的に行動できなかった

・夕食の量を考えて作るべき

【8代清流高校2年:稲本美聖】



褒められて伸びるタイプ? 企業インターンプレゼン

9月11日から5日間、大阪にあるA社のインターンに参加した。A社は土木コンサル企業で、河川や電気、湾岸など幅広い事業を展開している会社だ。私は、道路部門で業務を体験した。

昨年参加したA社による出張授業で道路設計を体験し、道路の世界に興味を惹かれたことが参加のきっかけだ。和歌山の現地視察やCADでの道路設計、構造物計算や専門のソフトで車両の軌跡検討などを体験した。

5日間でも印象に残ったのは、最終日のプレゼン発表だ。業務時間内に、空いている時間を見つけて発表資料を作るのが大変だった。

15分間のプレゼンでは、自己紹介とインターンで学んだことを10人程の社員の前で発表した。ゆっくり笑顔で自信を持って話すことが、意識した。

質疑応答では5人から質問等があり、「これまでにないくらい良い発表だった」と褒められて嬉しかった。いつもとは違う環境でのプレゼンは少し緊張したが、達成感を味わうことができ、大変貴重な経験となった。

【熊本高専4年:堀川桃子】



和歌山の工事現場を視察中

お店に、そして畑に~10月の5期生合宿

合宿初日の10月21日は、午後からぎろっちょ縁道PJで24店舗にハロウィンの飾り付けを行った。一人ひとりが分担した作業を行い、イルミネーションと電池は、理由をきちんと話して渡すことができていた。



ハロウィンの飾り付け

翌22日の午前中は、氷川幹部交番となりの果樹園へ。私にとっては、初めての農作業だった。



エリアンサスの刈り取り

長さ3m以上のエリアンサスを運びやすくするために、ひもを置く位置を考えて結んだ。作業に慣れて来ると、1回で運ぶ量が増えていった。

【氷川中1年:川口まとい】

5期生の学びのまとめ

5期生が前月の定例学習会などをふりかえり、表現力アップを目指したまとめを紹介する。今回は、10月の学びby川口まとい(氷川中1年)

色んなことが交わった1ヶ月!
小さなことから知って大きくなる!
・メインタイトルとサブタイトルで分かりやすく!
・タイトルを書くときは一番伝えたいことだけを考えたメインタイトルのみだけ今までは書いていました!
でもサブタイトルを取り入れることで一番伝えたいことがさらに詳しく伝わるようになりました!
サブタイトルを使うことが習慣になるようにしていきたいと思っています。
・エリアンサス刈り取り
・梅、シモンなどが植えてある農地の作物の調査をしました。耳にしたことのない品種もありましたので、気になった種類などは調査員に話す機会が感じました!
ハロウィン かざりつけ
(かわいかった?) (イラスト)
(イラスト)

感謝のトマト投げ&お高くとまっと~! ~豊作祈願と地域での消費量アップめざす~ 第10回全国大学生政策アカデミー-2/2

8月25日から3日間、氷川町まちづくり情報銀行で第10回全国大学生政策アカデミーが開催され、大学生や氷川町職員ら24名が参加した。テーマは「氷川町の農産物」で、5チームが商品開発や販売戦略を提案。今月のミニコミ紙では、準優勝&ぎろっちょ賞を受賞したEチームの企画概要を紹介する。

◆感謝のトマト投げ

1. 目的

八代産の冬トマトが名産であることを氷川町民に周知するとともに、廃棄分の冬トマトをマスコットキャラクター「トマペン」に投げることで収穫された野菜に感謝をし、次年度の豊作を願う。

2. 内容

・規格外、廃棄冬トマトを農家から提供してもらい、参加者はブルーシート上にあるトマペンのパネル(口の部分に穴が開いた、物)に向かって、投げ入れる。

・投げ入れたトマトがトマペンの口に入ると、規格外品となったトマトをプレゼント。

・投げ終えたトマトは、野菜染め(体験料:¥500)として活用する。

3. 効果

全国でもオンリーワンのイベントとなることで、メディアの注目を集められる可能性がある。

4. 課題

食べ物を投げることは、禁忌という日本人の固定概念が存在する。投げ方によっては、地域景観を損ねる可能性がある。

◆お高くとまっと~!

1. 目的

地域の人に八代産冬トマトの魅力を知ってもらい、八代地域での八代産冬トマトの消費量向上を目指す。

2. 内容

①氷川町民が考える、冬トマトのおいしい食べ方を募集し、募集用紙、回収ボックス共に道の駅に設置する。

②応募されたレシピを氷川町役場

で選考し、決勝に残る5組程度を選抜する。

③選抜された地域住民に、実際に応募レシピを調理してもらい、審査員(冬トマト農家)に食べてもらう場を設ける。

④最優秀に選ばれたレシピは、氷川町の学校給食や店舗でのメニューとして採用される。レシピ考案者には、氷川町内で使用可能な商品券を贈呈する。

3. 効果

冬トマト農家自身にレシピを審査してもらうことで、農家自身のやりがいや誇りにつなげる。

4. 課題

今後、全国展開するにあたり、SNS・インターネットの効率的な活用方法を見出せるか。

◆第23回わらしべ市

毎年恒例のわらしべ市は、昨年と同様に2週に分けて全国の特産品の販売が行われます。メインのリンゴは、例年1トンほど販売していますが、今年は遅霜と猛暑により収穫量は30~50%減。各地での価格は通常の1.5倍と高騰していますが、わらしべ市では2割アップ程度で販売いたします。また、贈答用が少ないこともご了承下さいませ。くわしくは、12月上旬の新聞折り込みチラシをご覧ください。

ださい。

【リンゴ&北海道ウィーク】

12月9日(土)~17日(日)

【年越し・家族団らんウィーク】

12月19日(火)~24日(日)

【場所】

氷川町まちづくり酒屋

【おもな産地】

北海道おおぞら町・ニセコ町、群馬県みなかみ町、長野県小布施町、愛媛県宇和島町、宮崎県都農町



木造解体業

(有)もみのき

氷川町宮原1440-1
Tel 62-4681 携帯090-3669-8000

高齢者賃貸マンション「セレンティ」

高年齢者賃貸マンション【セレンティ全量】
(株)アシスト1 代表取締役 江崎 裕

高齢者賃貸マンション「セレンティ」入居者様募集

- 入居条件は、60歳以上の方であればどなたでも入居できます。
- 場所は、宮原のドラッグストア「セムス」の裏にあります。
- 費用は、3食含めて1ヵ月115,000円程度です。(税別)
- 空室状況:1人部屋3室です。
- 見学や詳細な問い合わせは、いつでもお申し付けください。

住所:八代郡氷川町宮原578-1(ドラッグストア:セムス裏)
問合せ先:高齢者賃貸マンション「セレンティ」 TEL62-1000